

タイトル	平成 28 年度 推薦・帰国生・社会人入試 (保健学科 小論文Ⅱ)
評価の ポイント	<p data-bbox="288 409 489 448">1 解答例：</p> <p data-bbox="288 499 432 535">1 - 1</p> <p data-bbox="288 542 343 575">問 1</p> <p data-bbox="288 584 1449 660">「山村」「過疎地域」では、どこでも、人口流出や少子高齢化が続き、生活がどんどん不便になっている。(48 字)</p> <p data-bbox="288 752 432 788">1 - 2</p> <p data-bbox="288 797 343 831">問 2</p> <p data-bbox="375 842 1452 1048">過疎とは、地域社会の機能が低下し、住民が一定の生活水準を維持することが困難な状態と定義されるが、上野村では、平成 20 年度からの 5 年間で 12 名の転入者がおり、移住者が人口の 14%を占め、一家族の子ども数も 3 名ほどで、地域社会の機能が低下したり、生活水準の維持が困難な状態にあるとは考えられないため。(146 字)</p> <p data-bbox="288 1142 489 1178">2 解答例：</p> <p data-bbox="288 1229 432 1265">2 - 1</p> <p data-bbox="288 1274 1449 1350">問 1 わざと無理難題を作り上げ、それを親にぶつけ、その反応に手がかりを見出そうともかく (40 字)</p> <p data-bbox="288 1402 432 1438">2 - 2</p> <p data-bbox="288 1447 1449 1697">問 2 子どもの自立の過程には、親と子の双方にある自立を推進する力と抑制する力の拮抗度合いが最もピークに達する思春期に、親が鏡となって子どもの姿を映し出すこと、そして、それに子どもが気づくことが必要である。親が子どもの鏡となり、子どもがそれに気づくためにも、親と子は自分の葛藤を表せるだけの親子の信頼関係が必要であり、このような信頼関係には同じ経験を共にした家族としての時間の積み重ねが必要なのだと考える。</p> <p data-bbox="1326 1706 1433 1740">(199 字)</p>